



昨年 6 月に開講しました「平成 28 年度なは市民協働大学」は、先日卒業式を迎えました。

長いようで短かった、あっという間の 9 か月。当初は、これから始まることにドキドキワクワクの楽しみと同時に、どんなことをするのか、どんな仲間がいるのだろうか？などいろいろと不安もあったと思いますが、各回講座やグループワーク、各グループでの実践活動など、同じ目標をもった仲間と多くの経験をとおして、仲間との絆が一層に深まったとともにまちづくりの楽しさも大変さも含めて、大きな充実感を感じていただけたら幸いです。

今回の経験をとおして、受講生それぞれの場で、まちづくりに参加するきっかけ、またはこのつながりから新たな広がり発展する、“大きな一歩”になることができましたら、大変嬉しく思います。

事務局一同、今回の受講生のみなさまとのご縁に感謝いたします。次年度は、みなさんと「なは市民協働大学院」でお会いできることを楽しみにしております！

●第 10 回卒業式・委嘱式・懇親会



- 1 日時：平成 29 年 2 月 18 日 (土) 10:00~13:00
- 2 参加者：26 名

平成 28 年度なは市民協働大学卒業式並びに第 9 期第二次那覇市協働大使委嘱式、懇親会を行いました。今年度は「卒業式を除く、全 9 回講座の内、7 回以上の出席」を卒業要件とし、受講生 35 名中 29 名の方が卒業認定を受けました。

城間市長のあいさつでは、「1 年間の協働大学の中でできた仲間とのつながりを大切に、引き続きそれぞれの地域において協働によるまちづくり活動を続けていただきたい。」とこれから地域のキーマンとして活躍していただく受講生のみなさんに向けて、激励の言葉がありました。

卒業生代表あいさつをされた、渡久地準さんからは、「とても楽しい活動ができた。また、実践活動をとおして協働の意味を深く理解できた。まちづくりは、一人ではできない、みんなで手を取り合って魅力あるまちにしていきたいと思います！」とこれまでの感想とこれからの熱い抱負を述べられました。

引き続き行われた、第 9 期那覇市協働大使委嘱式では、大学の卒業生からも 21 名の方が委嘱を受けました。平成 20 年度から委嘱を行っている協働大使は、679 名となりました。

その後の懇親会では、市長にも参加いただき、サンドイッチなどの軽食や受講生のみなさんが持ち寄ってくださった美味しいデザートをいただきながら、いろいろな話に花を咲かせ、和やかな楽しい雰囲気の中で会話を楽しみました。



卒業生代表あいさつをされた
渡久地さん

☆ご卒業おめでとうございます☆

Congratulations!!



茶菓子代の残金について (報告)

茶菓子代の残金につきましては、「熊本地震復興支援義援金」へ募金をさせていただきましたので、ご報告いたします。



収入	17,500 円	500 円×35 人
支出	17,296 円	
残	204 円	